

2020年2月6日

各位

薬剤科

採用医薬品情報（1月）

2020年1月24日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

2. 個々の器官系用医薬品

21. 循環器官用薬

214. 血圧降下剤

2149. その他の血圧降下剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ビソプロロール Bisoprolol  ビソノテープ Bisono テープ：2mg/枚 1枚：57.90 ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ （トアエイヨー） 【貯法】遮光 @643 ビソノテープ2mg	（外）胸部，上腕部又は背部のいずれかに貼付し，貼付後24時間ごとに貼りかえる。 4mgを1日1回から開始し，効果が不十分な場合には8mg1日1回に増量。1日8mgまで	選択的β_1アンタゴニスト 【効能・効果】 頻脈性心房細動 【禁忌】 高度の徐脈（著しい洞性徐脈），房室ブロック（II，III度），洞房ブロック，洞不全症候群，糖尿病性ケトアシドーシス，代謝性アシドーシス，心原性ショック，肺高血圧による右心不全，強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者，非代償性の心不全患者，重度の末梢循環障害のある患者（壊疽等）， 未治療の褐色細胞腫，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 心不全，完全房室ブロック，高度徐脈，洞不全症候群 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止。動物：胎仔毒性（致死，発育抑制）及び新生仔毒性（発育毒性等）。授乳婦：授乳禁止。動物：乳汁中へ移行

7. 治療を主目的としない医薬品

73. 公衆衛生用薬

732. 防疫用殺菌消毒剤

7321. アルコール及びアルデヒド製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
剝物 中性緩衝ホルマリン液 外：10%-3000mL 〔薬価未収載〕 （日本ターナー） 【貯法】遮光		特定化学物質・第3類 【効能・効果】 標本固定液，標本保存液

採用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）

また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報 (11月)

2019年9月20日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 8. 麻薬
- 81. アルカロイド系麻薬（天然麻薬）
- 811. あへんアルカロイド系麻薬
- 8119. その他のあへんアルカロイド系麻薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ヒドロモルフォン塩酸塩 Hydromorphone hydrochloride  ナルサス錠 Narusus 錠：2mg 1錠：206.60  (第一三共) DC/E2	(内) 4～24mgを1日1回	癌疼痛治療剤 【効能・効果】 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【禁忌】 重篤な呼吸抑制，気管支喘息発作中，慢性肺疾患に続発する心不全，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒），麻痺性イレウス，急性アルコール中毒，本剤の成分及びアヘンアルカロイドに対し過敏症，出血性大腸炎 【原則禁忌】 細菌性下痢 【重大な副作用】 連用により薬物依存，連用中における投与量の急激な減少ないし投与の中止により退薬症候，呼吸抑制，意識障害，イレウス（麻痺性イレウスを含む），炎症性腸疾患の患者で中毒性巨大結腸 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断．分娩前の投与で出産後新生児に退薬症候（多動，神経過敏，不眠，振戦等）．分娩時の投与で新生児に呼吸抑制．動物：胎仔奇形（頭蓋奇形，軟部組織奇形，骨格変異），出生仔の体重及び生存率の低下．授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行 【備考】 本剤が不要となった場合には，病院又は薬局へ返納するなどの処置について適切に指導すること 【投与制限日数】 30日
ヒドロモルフォン塩酸塩 Hydromorphone hydrochloride  ナルベイン注 Naruvein 注：2mg-1mL 1A：738.00 (第一三共) 【貯法】 遮光	(注) 1日0.5～25mgを持続静注又は持続皮下注	癌疼痛治療剤 【効能・効果】 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【禁忌】 重篤な呼吸抑制，気管支喘息発作中，慢性肺疾患に続発する心不全，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒），麻痺性イレウス，急性アルコール中毒，本剤の成分及びアヘンアルカロイドに対し過敏症，出血性大腸炎 【原則禁忌】 細菌性下痢 【重大な副作用】 依存性，呼吸抑制，意識障害，イレウス（麻痺性イレウスを含む），中毒性巨大結腸 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断．分娩前の投与で出産後新生児に退薬症候（多動，神経過敏，不眠，振戦等）．分娩時の投与で新生児に呼吸抑制．動物：胎仔奇形（頭蓋奇形，軟部組織奇形，骨格変異），出生仔の体重及び生存率の低下．授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行 【投与制限日数】 14日
ヒドロモルフォン塩酸塩 Hydromorphone hydrochloride  ナルラピド錠 Narurapid 錠：1mg 1錠：112.60  (第一三共) DC/I1	(内) 1日4～24mgを4～6回に分割	癌疼痛治療剤 【効能・効果】 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【禁忌】 重篤な呼吸抑制，気管支喘息発作中，慢性肺疾患に続発する心不全，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒），麻痺性イレウス，急性アルコール中毒，本剤の成分及びアヘンアルカロイドに対し過敏症，出血性大腸炎 【原則禁忌】 細菌性下痢 【重大な副作用】 連用により薬物依存，連用中における投与量の急激な減少ないし投与の中止により退薬症候，呼吸抑制，意識障害，イレウス（麻痺性イレウスを含む），炎症性腸疾患の患者で中毒性巨大結腸 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断．分娩前の投与で出産後新生児に退薬症候（多動，神経過敏，不眠，振戦等）．分娩時の投与で新生児に呼吸抑制．動物：胎仔奇形（頭蓋奇形，軟部組織奇形，骨格変異），出生仔の体重及び生存率の低下．授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行 【備考】 本剤が不要となった場合には，病院又は薬局へ返納するなどの処置について適切に指導すること 【投与制限日数】 30日

採用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各位

薬剤科

採用医薬品情報（10月）

2019年10月25日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 2. 個々の器官系用医薬品
- 23. 消化器官用薬
- 239. その他の消化器官用薬
- 2399. 他に分類されない消化器官用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
リナクロチド Linaclotide リンゼス錠 Linzess 0.25mg 1錠：88.30 ㊦ ㊧ ㊨ （アステラス） @725	（内） 0.5mgを1日1回食前、症状により0.25mgに減量 【禁忌】 機械的消化管閉塞又はその疑い、本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 重度の下痢 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。動物：胎仔毒性（胎仔体重の低値及び胎仔の形態異常）。授乳婦：授乳禁止、安全性未確立	グアニル酸シクラーゼC受容体アゴニスト 【効能・効果】 ①便秘型過敏性腸症候群。②慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）

※院内の使用は消化器内科限定とする。

- 6. 病原生物に対する医薬品
- 61. 抗生物質製剤
- 613. 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
- 6132. セフェム系抗生物質製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
セフジニル Cefdinir [CFDN] ㊦セフジニル細粒 Cefdinir 細：100mg/g 55.30/g ㊦ ㊧ ㊨ （ファイザー） 【貯法】 遮光 M302 [先発品] セフゾン細粒小児用10%	（内） 小児：1日量9～18mg/kgを3回に分割 リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱。 〈適応菌種〉本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス・ミラビリス、インフルエンザ菌。 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴 【原則禁忌】 セフェム系抗生物質に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、皮膚障害、血液障害、大腸炎、間質性肺炎、PIE症候群、腎障害、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸	セフェム系抗生物質製剤 【効能・効果】 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・

採用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各位

薬剤科

採用医薬品情報（9月）

2019年9月20日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 2. 個々の器官系用医薬品
- 22. 呼吸器官用薬
- 229. その他の呼吸器官用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
フルティフォーム125エアゾール Flutiform 外：1本〔120吸入〕 1本：6,346.20 ㊦ ㊧ ㊨ （杏林） 1回噴霧量： フルチカゾンプロピオン酸エステル 125μg ホルモテロールフマル酸塩水和物 5μg	（外） フルティフォーム50エアゾールを1回2吸入，1日2回投与．症状に応じてフルティフォーム125エアゾールを1回2～4吸入，1日2回 成分に対して過敏症 【原則禁忌】 結核性疾患 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー，重篤な血清カリウム値低下，肺炎 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断．動物：胎仔の発育抑制，催奇形性．授乳婦：授乳禁止，動物：乳汁移行	吸入ステロイド・長時間作用性β₂刺激薬（LABA） 【効能・効果】 気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作用型吸入β ₂ 刺激剤の併用が必要な場合） 【禁忌】 有効な抗菌剤の存在しない感染症，深在性真菌症．本剤の

- 23. 消化器官用薬
- 239. その他の消化器官用薬
- 2399. 他に分類されない消化器官用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
メサラジン Mesalazine リアルダ錠 Lialda 錠：1200mg 1錠：203.80 ㊨ （持田製薬） 【貯法】 冷所	（内） 1日1回2,400mgを食後．活動期は1日1回4,800mgを食後，患者の状態により適宜減量 重篤な腎障害・肝障害 【重大な副作用】 再生不良性貧血，汎血球減少症，無顆粒球症，白血球減少症，好中球減少症，血小板減少症，心膜炎，心筋炎，胸膜炎，間質性肺疾患，睪炎，間質性腎炎，ネフローゼ症候群，腎不全，肝機能障害，肝炎，黄疸 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立．授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行，乳児に下痢	潰瘍性大腸炎治療剤 【効能・効果】 潰瘍性大腸炎（重症を除く） 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症，サリチル酸塩類に対し過敏症，

採用情報はW S Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（6・7月）

2019年6月28日（金）、7月26日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 1. 神経系及び感覚器官用医薬品
- 12. 末梢神経系用薬
- 121. 局所麻酔剤
- 1211. アミノ酸安息香酸アルカミンエステル製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
プロカイン塩酸塩 Procain hydrochloride ④ プロカニン注 Procanine 注：25mg－5mL/A 1本：92.00 □ (光) ④ プロカニン注 Procanine 注：50mg－5mL/A 1本：92.00 ④ □ (光)	(注) ①1回1,000mgの範囲内で使用。必要に応じアドレナリン（濃度1：10万～20万）を添加。 ②10～400mgを使用。必要に応じアドレナリン（濃度1：10万～20万）を添加。	エステル型局所麻酔剤 【効能・効果】①浸潤麻酔。②伝達麻酔。 【禁忌】メトヘモグロビン血症、本剤の成分又は安息香酸エステル（コカインを除く）系局所麻酔剤に対し過敏症。次の場合は血管収縮剤（アドレナリン、ノルアドレナリン）を添加しない：血管収縮剤に対し過敏症、高血圧、動脈硬化、心不全、甲状腺機能亢進、糖尿病、血管痙攣、耳・指趾・陰茎の麻酔 【重大な副作用】ショック、振戦・痙攣等の中毒症状 【妊婦・授乳婦】妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。妊娠末期：慎重投与（麻酔範囲が広がり、仰臥性低血圧を起こすことがある。）

- 2. 個々の器官系用医薬品
- 22. 呼吸器官用薬
- 225. 気管支拡張薬
- 2259. その他の気管支拡張剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
プロカテロール塩酸塩水和物 Procaterol hydrochloride hydrate メブチン吸入液ユニット Meptin 外液：0.01%－0.3mL 1A：15.80 ④ ④ ④ ④ (大塚)	(外) 1回30～50 μg（本剤として0.3～0.5mL）、小児：1回10～30 μg（本剤として0.1～0.3mL）を深呼吸しながらネブライザーを用いて吸入。	β₂刺激薬（SABA） 【効能・効果】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解：気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫 【禁忌】本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】ショック、アナフィラキシー、重篤な血清カリウム値の低下 【妊婦・授乳婦】妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。授乳婦：授乳禁止、動物で乳汁移行。

229. その他の呼吸器官用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
オマリズマブ（遺伝子組換え） Omalizumab (genetical recombination)    ゾレア皮下注用シリンジ Xolair 注：75mg-0.5mL 1本：23915.00  (ノバルティス) 【貯法】禁凍結，冷所（2～8℃）	（皮下） ①1回75～600mgを2又は4週間毎に皮下注。1回あたりの投与量並びに投与間隔は，初回投与前の血清中総IgE濃度及び体重に基づき設定。 （投与前の血清中総IgE濃度（国際単位/mL）及び体重（kg）ごとの1回投与量一覧）は医薬品集（文末表1154頁）参照。 ②成人及び12歳以上の小児に1回300mgを4週間毎に皮下注。	ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤 【効能・効果】 ①気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る）。②特発性の慢性蕁麻疹（既存治療で効果不十分な患者に限る） 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立 授乳婦：授乳禁止，動物で乳汁移行。
   ゾレア皮下注用シリンジ Xolair 注：150mg-1mL 1本：45645.00  (ノバルティス) 【貯法】禁凍結，冷所（2～8℃）		

3. 代謝性医薬品
33. 血液・体液用薬
333. 血液凝固阻止剤
3334. ヘパリン製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ヘパリンナトリウム Heparin sodium ヘパフラッシュシリンジ Hepaflush 注：1,000単位－10mL/本 1本：126.00    (テルモ)	（注入） 静脈内留置ルート内を充填するのに十分な量を注入。	血液凝固阻止剤（ヘパリンナトリウム製剤） 【効能・効果】 静脈内留置ルート内の血液凝固の防止 【原則禁忌】 出血〔DICを除く〕、出血する可能性、重篤な肝障害、重篤な腎障害、中枢神経系の手術又は外傷後日の浅い患者、本剤の成分に対し過敏症、ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）の既往歴 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー，血小板減少，HIT等に伴う血小板減少・血栓症，出血 【妊婦・授乳婦】 妊婦：安全性未確立 【備考】 10単位／mL製剤は通常6時間まで，100単位／mL製剤は12時間までを標準とし最長24時間までの血液凝固防止に用いる

採用情報はW S Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

2019年6月12日

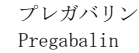
各 位

薬剤科

採用医薬品情報（5月）

2019年4月26日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 1. 神経系及び感覚器官用医薬品
- 11. 中枢神経系用薬
- 119. その他の中枢神経系用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
 Pregabalin  リリカ00錠 Lyrica 錠：25mg 1錠：66.90 ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ (ファイザー) PTLY25 PTLY 25	(内) ①初期用量として1日150mgを1日2回に分割し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増。1日600mgまでとし、いずれも1日2回に分割。②初期用量として1日150mgを1日2回に分割し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増した後、300～450mgで維持。1日450mgまでとし、いずれも1日2回に分割 動物：胎仔異常（低体重，限局性浮腫の発生率上昇，骨格変異，骨化遅延等），出生仔への影響（体重低下，生存率の低下，聴覚性驚愕反応の低下，発育遅延，生殖能に対する影響等）。 授乳婦：授乳禁止，母乳中へ移行	疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） 【効能・効果】①神経障害性疼痛。②線維筋痛症に伴う疼痛 【禁忌】本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】めまい，傾眠，意識消失，心不全，肺水腫，横紋筋融解症，腎不全，血管浮腫，低血糖，間質性肺炎，ショック，アナフィラキシー，Stevens-Johnson症候群，多形紅斑，劇症肝炎，肝機能障害 【妊婦・授乳婦】妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立。
 リリカ00錠 Lyrica 錠：75mg 1錠：111.50 ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ (ファイザー) PTLY75 PTLY 75		

上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各位

採用医薬品情報（4月）

2. 個々の器官系用医薬品

23. 消化器官用薬 239. その他の消化器官用薬

2391. 鎮吐劑

3. 代謝性医薬品

33. 血液・体液用薬 339. その他の血液・体液用薬

3399. 他に分類されない血液・体液用薬

採用情報はW S Sにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

以上

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（3月）

2018年11月30日（金）及び2019年3月29日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

24. ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）
249. すい臓ホルモン剤
249. その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
インスリングルルギン（遺伝子組換え） Insulin glargine (genetical recombination)  ランタスXR注シロスター LantusXR 注：450単位-1.5mL/本（キット） 1本：2,933.00  （サノフィ） 【貯法】 禁凍結，2～8℃，遮光	（皮下） 初期は1日1回4～20単位を皮下注．ときに他のインスリン製剤を併用．注射時刻は毎日一定とする．投与量は患者の症状及び検査所見に応じて増減．その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は1日4～80単位．必要により上記用量を超えて使用することがある 量に留意し，定期的に検査を行い投与量を調整すること．通常インスリン需要量は，妊娠初期は減少し，中期及び後期は増加する 【備考】 使用開始後は本剤を冷蔵庫に保存せず，遮光保存すること．使用開始後6週間を超えたものは使用しないこと	持効型溶解インスリンアナログ製剤 【効能・効果】 インスリン療法が適応となる糖尿病 【禁忌】 低血糖症状，本剤の成分又は他のインスリングルルギン製剤に対し過敏症 【重大な副作用】 低血糖，ショック，アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦：安全性未確立．妊娠した場合，あるいは妊娠が予測される場合には医師に知らせるよう指導すること．妊娠中，周産期，授乳期等にはインスリンの需要量が増加しやすいため，用

26. 外皮用薬
261. 外皮用殺菌消毒剤
2619. その他の外皮用殺菌消毒剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
クロルヘキシジングルコン酸塩 Chlorhexidine gluconate クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール消毒液 Chlorhexidine gluconate 外液：1.0%-250mL 薬価未収載  （吉田） 【貯法】 遮光	（外） 手指・皮膚の消毒には，洗浄後，1日数回適量を塗布する	殺菌消毒剤 【効能・効果】 手指・皮膚の消毒． 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦・授乳婦：膣・外陰部の消毒等には使用しないこと．

42. 腫瘍用薬

423. 抗腫瘍性抗生物質製剤

4235. アントラサイクリン系抗生物質製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
エピルビシン塩酸塩 Epirubicin hydrochloride エピルビシン塩酸塩注射用 Epirubicin hydrochloride 注：10mg/V 50mg/V 10mg：2, 137. 00 50mg：10, 154. 00 (日本化薬)	(静) ①15mg/㎡を約20mLの注射用水に溶解し、1日1回5～7日間連日静注、3週間休薬、これを1クールとし、必要に応じて2～3クール反復。 (静) ②40～60mg/㎡を約20mLの注射用水に溶解し、1日1回静注、3～4週休薬、これを1クールとし、3～4クール反復。 (静) ③60mg/㎡を約20mLの注射用水に溶解し、1日1回静注、3～4週休薬、これを1クールとし、3～4クール反復。 (動) ④60mg/㎡を約20mLの注射用水に溶解し、肝動脈内に挿入されたカテーテルより、1日1回肝動脈内に投与し3～4週休薬、これを1クールとし、3～4クール反復。 (注入) ⑤60mgを30mLの生理食塩液に溶解し、1日1回3日間連日膀胱内注入、4日間休薬、これを1クールとし、2～4クール反復。注入後、1～2時間膀胱腔内に把持。 (静) ⑥1) シクロホスファミド水和物との併用：100mg/㎡を約20mLの注射用水に溶解し、1日1回静注、20日間休薬、これを1クールとし、4～6クール反復。2) シクロホスファミド水和物、フルオロウラシル併用：100mg/㎡を約20mLの注射用水に溶解し、1日1回静注、20日間休薬。これを1クールとし、4～6クール反復。 (動) ⑦10mgに対し、ヨード化ケシ油脂脂肪酸エチルエステルを0. 5～2mLの割合で加え、肝動脈内に挿入されたカテーテルより肝動脈内に投与。1日60mg/m2とするが、腫瘍血管に乳濁液が充満した時点で終了	抗腫瘍性抗生物質製剤 【効能・効果】次記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：①急性白血病。②悪性リンパ腫。③乳癌、卵巣癌、胃癌、尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍）。④肝癌。⑤膀胱癌（表在性膀胱癌に限る）。⑥乳癌（手術可能例における術前、あるいは術後化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法。⑦肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE） 【警告】本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。↓また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。 【禁忌】心機能異常又はその既往歴、本剤に対し重篤な過敏症、他のアントラサイクリン系薬剤等毒性を有する薬剤による前治療が限界量（ドキソルビシン塩酸塩では総投与量が体表面積当たり500mg/㎡、ダウノルビシン塩酸塩では総投与量が体重当たり25mg/kg等）に達している患者。肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）の場合：ヨード系薬剤に対し過敏症、重篤な甲状腺疾患 【原則禁忌】肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）の場合：総ビリルビン値が3mg/dL以上又は重度の肝障害（Child-Pugh分類C） 【重大な副作用】心筋障害、骨髄抑制、ショック、アナフィラキシー、間質性肺炎、膀胱腔内注入により萎縮膀胱、肝・胆道障害、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、消化管出血 【妊婦・授乳婦】妊婦：投与禁止希望。動物：胎仔毒性、類薬で催奇形性。授乳婦：授乳禁止、動物：乳汁移行。

採用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（2月）

2019年2月22日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 2. 個々の器官系用医薬品
- 21. 循環器官用薬
- 214. 血圧降下剤
- 2149. その他の血圧降下剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ウラピジル Urapidil  エبرانチルカプセル Ebrantil Cap：15mg 1Cap：16.40   （科研製薬） KC155	（内） 以下を1日2回に分割し朝夕食後．①1日30mgより開始，1～2週間の間隔で1日120mgまで漸増．②1日30mgより開始，1～2週間の間隔で1日60～90mgまで漸増，1日90mgまで．③1日30mgより開始，1～2週間の間隔で1日60mgに漸増，1日90mgまで 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立．授乳婦：授乳禁止，動物で乳汁移行	排尿障害改善・降圧剤 【効能・効果】 ①本態性高血圧症，腎性高血圧症，褐色細胞腫による高血圧症．②前立腺肥大症に伴う排尿障害．③神経因性膀胱に伴う排尿困難 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 肝機能障害

- 24. ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む．）
- 248. 混合ホルモン剤
- 2482. 卵胞ホルモン，黄体ホルモン混合製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
プラノパール配合錠 Planovar 錠 1錠：13.90   （あすか） AK AK376 1錠中： ノルゲストレル 0.5mg エチニルエストラジオール 0.05mg	（内） ①1日1錠を7～10日間連続投与．②1日1錠を月経周期第5日より約3週間連続投与 【禁忌】 血栓性静脈炎，肺塞栓症又はその既往歴，エストロゲン依存性悪性腫瘍及びその疑い，重篤な肝障害，前回妊娠中に黄疸又は持続性そう痒症の既往歴，前回妊娠中に悪化した耳硬化症の既往歴，妊娠ヘルペスの既往歴，鎌状赤血球貧血，デュビン・ジョンソン症候群，ローター症候群，脂質代謝異常，妊婦又は妊娠している可能性，診断の確定していない異常性器出血，オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤投与中 【重大な副作用】 血栓症 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止．安全性未確立．授乳婦：慎重投与，母乳の量的質的低下，母乳中へ移行	黄体・卵胞ホルモン配合剤 【効能・効果】 ①機能性子宮出血．②月経困難症，月経周期異常（稀発月経，頻発月経），過多月経，子宮内膜症，卵巣機能不全

4. 組織細胞機能用医薬品

42. 腫瘍用薬

429. その他の腫瘍用薬

4291. その他の抗悪性腫瘍用剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
アザシチジン Azacitidine  ビダーザ注射用 Vidaza 注：100mg/V 1V：41,961.00 （日本新薬）	（皮下）（滴）75mg/m²を1日1回7日間皮下注又は10分かけて点滴静注し，3週間休薬．これを1サイクルとし，繰り返す	骨髄異形成症候群治療剤 【効能・効果】骨髄異形成症候群
オシメルチニブメシル酸塩 Osimertinib mesilate  タグリッソ錠 Tagrisso 錠：80mg 1錠：23,932.60 （アストラゼネカ） AZ80	（内）80mgを1日1回．患者の状態により適宜減量	チロシンキナーゼ阻害剤 【効能・効果】EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌
 タグリッソ錠 Tagrisso 錠：40mg 1錠：12,482.50 （アストラゼネカ） AZ40	【警告】1. 本剤は，緊急時に十分に対応できる医療施設において，がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで，添付文書を参照して，適切と判断される症例についてのみ投与すること．また，治療開始に先立ち，患者又はその家族に本剤の有効性及び危険性（特に，間質性肺疾患の初期症状，服用中の注意事項，死亡に至った症例があること等に関する情報），非小細胞肺癌の治療法等を十分説明し，同意を得てから投与すること． 2. 本剤の投与により間質性肺疾患があらわれ，死亡に至った症例が報告されているので，投与期間中にわたり，初期症状（呼吸困難，咳嗽，発熱等）の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等，観察を十分に行うこと．異常が認められた場合には投与を中止し，適切な処置を行うこと．また，特に治療初期は入院又はそれに準ずる管理の下で，間質性肺疾患等の重篤な副作用発現に関する観察を十分に行うこと．（「用法・用量に関連する使用上の注意」，「慎重投与」，「重要な基本的注意」，「重大な副作用」の項参照） 3. 本剤投与開始前に，胸部CT検査及び問診を実施し，間質性肺疾患の合併又は既往歴がないことを確認した上で，投与の可否を慎重に判断すること．（「慎重投与」の項参照） 【禁忌】本剤の成分に対し過敏症，妊婦又は妊娠している可能性 【重大な副作用】間質性肺疾患，QT間隔延長，血小板減少，好中球減少，白血球減少，貧血，肝機能障害 【妊婦・授乳婦】妊婦：投与禁止．妊娠可能な女性に対しては，本剤投与中及び投与終了後一定期間は適切な避妊を行うよう指導．動物：胚死亡，胎仔重量の減少，胎仔及び出生仔の生存率低下，成長抑制，卵巣の黄体変性，子宮及び膈の上皮菲薄化，炎症又は変性，雌受胎能への影響．パートナーが妊娠する可能性がある男性に対しては，本剤投与中及び投与終了後一定期間は適切な避妊を行うよう指導．動物：雄性生殖器の変化（精巣の精細管変性，精巣上体の精子減少等），雄受胎能への影響．授乳婦：授乳禁止．動物：乳汁中へ移行．成長及び生存への悪影響	

採用情報はW S Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）

また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室（内線4111）